

地域学校協働連携NEWS



こちらの二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます →

地域学校協働南会津地区研修会 ②

演習 「子供が夢中になる工作・体験活動」

ムシテックワールド事業課事業グループ長の塩澤仁行氏を講師にお迎えして、盛りだくさんの演習を行いました。ペットボトルや紙を使ったジャイロ（輪飛ばし）や牛乳パックを活用したびっくり袋、百円ショップで購入できる材料を使ったアイデア工作・スーパー泥団子等を紹介していただきました。ジャイロ（輪飛ばし）では、紙とペットボトルで制作した輪を笑顔で繰り返し飛ばして楽しむ参加者の姿が見られました。身近な材料を活用した玩具づくりやそれを使った遊びは、子供の知的好奇心を喚起し、夢中になるものばかりで、子供はもちろん、大人も十分に楽しめる内容でした。内容の濃い、充実した演習となりました。



- 大人も夢中になり、楽しめる内容だった。機会を見つけて子ども達に体験させたい。 【小学校管理職】
- 子どもが飽きない工夫がたくさんあり、素晴らしいと思った。いろいろなアイデアをいただいたので、機会を見て子ども達にも返していきたいと思った。 【地域連携担当教職員】
- 受ける側はワクワク感が大切だと感じた。身近な物だけで十分に楽しむことができた。 【子ども教室職員】
- 身の回りにある物が工夫次第でこのようにおもしろい遊びができる事がわかり、今後の活動に取り入れて子ども達と楽しい時間を過ごしたい。 【子ども教室職員】
- 簡単な事で夢中になった。「知る」という事は大切だなと思う。そこから子ども達がどう発展させるのかが気になるので持ち帰ってぜひやってみたい。 【子ども教室職員】
- 放課後子ども教室で使えるような内容をたくさん紹介していただいて楽しかった。大人でも十分に楽しめるものもあり、久しぶりにワクワクした。 【子ども教室職員】
- 簡単な材料で楽しめるネタをいっぱい紹介していただいて楽しかった。がっつり取り組まなくても気楽に短時間で遊ぶことができるので、早速教室でやりたくなった。 【子ども教室職員】
- 放課後子ども教室のイベントの種をたくさん紹介していただき、勉強になった。 【教育委員会担当者】
- 身近な物を利用している点がすごく良く、工夫する楽しみも味わうことができた。 【教育委員会担当者】

講師を務めていただいた塩澤氏から紹介メニューを「お品書き」にして提示していただき、50分の時間枠をフル活用した演習となりました。その効果もあってか、「早く持ち帰って子ども達とやってみたい」という参加者の前向きな声が多く聞かれました。「久しぶりにワクワクした。」「大人が楽しい活動は子供だって楽しいですね。」という声もありました。

研修会に参加された方々にはそれぞれの持ち場で「子ども達のために」今回の学びで得たことを生かしていただきたいと思います。

